

荒川区小中学校における
プール施設と水泳授業等のあり方
(案)

荒川区教育委員会

令和8年●月

目次

1	はじめに	P 1
2	学校プール施設の現状と課題	P 1
	(1) 学校プール施設の整備状況	
	(2) 課題	
	(3) 国における方針	
3	水泳授業の現状と課題	P 4
	(1) 水泳授業の目的と学習指導要領の位置付け	
	(2) 水泳指導の実施状況	
	(3) 課題	
4	学校外プールの活用	P 5
	(1) 区営プール	
	(2) 区内民間プール施設（区近隣施設を含む）	
	(3) 民間水泳授業委託試行実施【民間施設活用型】	
	(4) 民間水泳指導員による水泳授業委託試行実施【指導員派遣型】	
5	ケースごとの経費比較	P14
	(1) 今後の水泳授業で想定されるケースの整理	
	(2) 想定されるケースごとの経費比較	
6	学校プール施設整備方針	P22
	(1) ケース別の検討・評価	
	(2) 今後の学校プール施設整備の基本的な考え方	
	(3) 拠点校候補校及びグルーピング検討	
	(4) 拠点校整備までの既存施設への対応	
<参考資料>		
民間水泳授業委託施行実施【民間施設活用型】及び		
	民間水泳指導員による水泳授業委託施行実施【指導員派遣型】実施後アンケート結果	P27

1 はじめに

区立小中学校における水泳授業は、学習指導要領において、学年別に指導内容及び目標が定められており、原則各校に設置されたプール施設において、教員が水泳指導を実施しています。水泳授業は、児童生徒の体力向上を図るだけでなく、水難事故から命を守るスキルを身に付ける上で、重要な役割を果たしています。

しかし、昨今の猛暑や酷暑、豪雨（雷）等の気候変動に伴い、水泳授業が中止になる回数が増加するなど計画的な実施が難しくなっています。また、プール施設の管理業務等が学校や教員の過度な負担となっている状況も見受けられます。さらに、屋外に設置されているプール施設は、維持管理に多くの経費を要しますが、その利用は年間を通して夏季のみに限られています。

そのような状況を踏まえ、令和6年度から民間施設を活用した水泳授業や自校のプールに民間の指導員を派遣し、水泳授業を実施するなどの取り組みを試行実施してきたところです。

今後予定されている学校の建替えを機会に、水泳授業の継続を前提に、学校プール施設や水泳授業のあり方について検討を進めることとします。

2 学校プール施設の現状と課題

(1) 学校プール施設の整備状況

荒川区内の学校は、小学校24校、中学校10校（計34校）であり、このうちすべての学校で敷地内にプールを設置し、使用しています。これらの区立学校プールの概要を表2-1に示します。

「プール竣工後経過年数」について、最大は62年（赤土小学校）、最小は12年（尾久八幡中学校）ですが、全体の過半数である18校の学校のプールが、竣工してから50年以上経過しています。

また、「プール種別」に着目すると、34校のうち29校のプールが屋外式又は屋上式となっており、このうち比較的新しく建てられた学校（昭和56年以降）は屋上式となっています。また、残りの5校に関しては、校庭敷地が狭く、プールを常設とした場合に教育活動に支障が出る恐れがあることから、校庭を最大限活用するため、組立式又は地下式としています。

表2-1 区立学校プールの概要

施設名	所在地	プール 竣工年	プール 竣工後 経過年数※	プール 種別	備考
瑞光小学校	南千住1-51-1	S47	54年	屋外式	
第二瑞光小学校	南千住5-8-1	S46	55年	屋外式	
第三瑞光小学校	南千住7-9-1	S44	57年	屋外式	
汐入小学校	南千住8-2-3	H13	25年	屋上式	
汐入東小学校	南千住8-9-3	H22	17年	屋上式 (屋根付)	令和7年度 民間指導員による 試行実施
第六瑞光小学校	南千住1-4-11	S46	56年	屋外式	
峡田小学校	荒川3-77-1	H8	31年	屋上式	
第二峡田小学校	荒川2-30-1	S45	56年	屋外式	

第三峡田小学校	荒川 1 -43- 1	S40	61 年	屋外式	
第四峡田小学校	町屋 2 -11- 6	S62	40 年	屋上式	
第五峡田小学校	町屋 3 -17-24	S48	53 年	屋外式	
第七峡田小学校	町屋 8 -19-12	H15	23 年	屋外式	
第九峡田小学校	荒川 6 - 8 - 1	S47	54 年	屋外式	
尾久小学校	東尾久 5 - 6 - 7	S44	57 年	屋外式	
尾久西小学校	西尾久 5 -27-12	S47	54 年	屋外式	
尾久第六小学校	西尾久 8 -26- 9	H 5	34 年	屋上式	
赤土小学校	東尾久 2 -43- 9	S39	62 年	屋外式	
大門小学校	町屋 4 -27- 8	S42	59 年	屋外式	
尾久宮前小学校	西尾久 1 -4-17	S43	58 年	地下式	
第一日暮里小学校	西日暮里 3 - 7 -15	S41	60 年	地下式	
第二日暮里小学校	東日暮里 5 - 2 - 1	S56	45 年	屋上式	
第三日暮里小学校	東日暮里 3 -10-17	S58	43 年	屋上式	
第六日暮里小学校	西日暮里 6 -35-16	S49	52 年	組立式	令和 6 ・ 7 年度 民間施設活用 試行実施
ひぐらし小学校	西日暮里 2 -32- 5	H 3	36 年	屋上式	
第一中学校	荒川 1 -30- 1	H 7	32 年	屋上式	
第三中学校	南千住 8 -10- 1	H13	25 年	屋上式	
第四中学校	荒川 6 -57- 1	S43	58 年	地下式	
第五中学校	町屋 1 -37-16	S42	59 年	屋外式	
第七中学校	西尾久 4 -30-28	S46	55 年	屋外式	
第九中学校	東尾久 2 -23- 5	S50	51 年	組立式	令和 6 ・ 7 年度 民間施設活用 試行実施
尾久八幡中学校	西尾久 3 -14- 1	H25	14 年	屋上式	
南千住第二中学校	南千住 7 -25- 1	H 1	38 年	屋上式	
原中学校	町屋 5 -12- 6	H 8	31 年	屋上式	
諏訪台中学校	西日暮里 2 -36- 8	H13	26 年	屋上式 (屋根付)	令和 7 年度 民間指導員による 試行実施

※令和 8 年度末時点における経過年数

← 【第六日暮里小学校 組立式プール】

↓ 【尾久宮前小学校 地下式プール】



(2) 課題

現状の学校プールの課題として、適宜修繕等の対応を図っていますが、施設の老朽化が進み対応が追い付いていません。また、更衣室等のプール付帯設備については、利用期間が限定的であることなどから、校舎、屋内運動場等に比べて優先度が低く、積極的な改修等が実施できていない状況です。老朽化のトラブルとしては、漏水、ろ過機や給排水設備の故障、塗装の劣化、床面の剥がれなどが挙げられます。

また、屋外式において、夏季期間しか使用しないプールの常設により校庭面積が圧迫されることや、組立式・地下式についても、同様の課題に加え、毎年の設置・解体における高額な経費が必要となっています。

さらに、毎日の清掃や水質管理、水道の閉め忘れによる賠償責任の発生、混入した虫や異物等の除去等衛生面への対応などの施設管理が教職員の負担となっています。

(3) 国における方針

「学校における働き方改革に配慮した学校プールの管理の在り方について（依頼）（令和6年7月10日、文部科学省・スポーツ庁）」では、次のとおり整理されており、教師等の負担を軽減するための方策として、民間活力を活用した管理委託や公営・民間プールを活用した水泳指導等が示されています。

（要約）

昨今学校プールの管理を担当することとされた教師等が給水の停止等をしなかったことで継続的に給水が行われ、結果として校長や当該教師等が水道料金を賠償する事例が発生するなど、学校プールの管理業務を担当する教師等にとって過度な負担につながっている事態も見受けられる。このような状況の中、国は、各学校設置者に対し、学校プールの管理業務に関する教師等の負担を軽減するための取組として、指定管理者制度の活用、民間業者への委託等の検討を求めている。

引き続き学校で学校プールの管理を行う場合でも、管理員の配置や自動で給水を止めるためのシステムの導入、複層的なチェック体制の構築、マニュアルの作成等を通じ、学校プールの管理を特定の教師等に任せきりにせず組織として適切に行うための環境整備を徹底することを求めている。

また、学校プールではなく、地域の公営・民営プールを活用して、水泳指導を行うことも考えられるとしている。



【塗装工事实施後の学校プール】

3 水泳授業の現状と課題

(1) 水泳授業の目的と学習指導要領の位置付け

水泳はバランスの取れた全身運動であり、小・中学校の時期に基本的な水泳技能を習得することは、児童生徒の身体的な発達を促す教育的な効果が期待されるとともに、水難事故防止の観点からも有効です。

学習指導要領においては、発達段階に応じた水泳指導の目標を定めており、小学校では、低学年の「水に慣れる運動遊び・浮く・もぐる遊び」、中学年の「浮く運動・泳ぐ運動」、高学年の「クロール、平泳ぎ、安全確保につながる運動」で幅広い水泳に関する動きの学習を行うこととしています。

また、中学校では、第一学年及び第二学年には泳法を身に付けることをねらいとした学習を行い、第三学年では効率的に泳ぐことをねらいとした学習を行うこととしています。

ただし、学習指導要領では、適切な水泳場の確保が困難な場合には行わないことができる旨記載があり、施設面の課題から水泳指導を行わず、座学等にて実施する自治体もあります。

(2) 水泳指導の実施状況

学校ごとにプール施設の利用状況は異なりますが、概ね、6月中旬から9月上旬（中学校は9月下旬）にかけて授業を行っている学校が多いです。これは日数にすると80日程度（中学校は90日程度）ですが、このうち授業で使用している日数は、例年、平均30日程度（夏休み期間中の水泳指導として小中学校とも平均6日程度を含む。）です。

雨天・雷、気温及び猛暑（熱中症警戒アラート発出等）（※1）、水質管理などの影響により、指導を中止せざるを得ない課題があり、令和7年度（1学期、夏季休業中、2学期）の学校プールの利用実施率（※2）は、小学校で76%、中学校で80%でした。

各学校の必要授業数については、学習指導要領を基に学校ごとに設定されているため、統一の時間数の指定はありませんが、概ね10コマ（10回）前後の授業を実施しています。

授業の実施方法は、各学校の学級数や発達の段階、学校事情に応じて、学級ごと・学年ごと・2学年合同にて実施しています。また、部活動としてプールを利用している小学校、中学校は現状ありません。

※1 プール授業における温度等の目安

- ・水温は23℃以上が望ましく、上級者や高学年であっても22℃以上の水温が適温となっている（文部科学省「水泳指導の手引き」）。
- ・屋外プールの水温の安全の目安として、水温と気温を足した温度が65℃以上になるときは水泳に適さない（日本水泳連盟「水泳指導教本」）。
- ・暑さ指数（WBGT）31以上で運動は原則中止の指針も参考としている。（環境省、文部科学省）

※2 利用実施率の算出方法

- ・当初予定していた全学年の水泳指導総授業時数（コマ数）のうち、実際に実施した全学年の水泳授業総授業時数（コマ数）の割合

(3) 課題

学校の屋外プールでの水泳指導において、授業を実施する時期（6月～9月）は、梅雨や台風、雷等の天候の影響を受けやすいだけでなく、近年の気候変動による猛暑やゲリラ豪雨等により、指導計画通りに授業が実施出来ない場合もあり、予定していた授業時間数を確保できないことがあります。

また、教員が水泳指導を行っていますが、授業の際には、水泳指導と同時に安全管理を徹底する必要がありますが、人数不足により監視の目が行き届かない場合があります。特に小学校においては、全ての教員が水泳指導を専門としていないため、指導の質の確保が難しい状況にあります。

※一部の学校では、民間のスポーツクラブや自校のプールにて指導員による水泳授業委託の試行を実施しました。

4 学校外プールの活用

(1) 区営プール

①施設概要

区営プールとして、荒川総合スポーツセンター温水プール及びあらかわ遊園スポーツハウス温水プールを有しています。このほか、荒川自然公園内に屋外施設のわいわいプールがありますが、プール形状や水深の点から、授業利用には適していないため、対象外とします。

各施設の概要を表4-1に示します。これら2施設はプールの規模や竣工後経過年数が同程度であり、さらにいずれも過去5年間のうちに改修が行われています。

表4-1 区営プールの概要

施設名	所在地	コース数		水深	営業日時	建築年度	竣工後 経過年数 R8年度末時点	バス 駐車場	運営 方法
		25m	15m						
荒川総合 スポーツ センター	荒川区南 千住6-45-5	7	3	小プールのみ 可動床 (110cm・ 90cm・70cmで 運用中)	8:00～22:30 (1月1日～ 3日を除く) ※1 休館日： 毎月第2水曜	S60 (R元 改修)	40年 (改修後 4年)	マイクロ バスのみ 駐車可	指定 管理者
あらかわ 遊園スポ ーツハウ ス	荒川区西 尾久8-3-1	7	—	プールフロア (水深調整 台)にて調整 可	9:00～21:30 (12月29日～ 1月3日を除 く)※1	H5 (R7～8 改修)	33年	無	直営

※1 上記のほか、設備点検・館内清掃等で連続した休館を年に5日程度設定。

※ あらかわ遊園スポーツハウスは、令和6年度末で休館し、令和9年4月リニューアルオープン予定のため、休館前の情報である。

②利用状況

荒川総合スポーツセンターは、令和7年6月より、毎月第2水曜日を休館日としているほか、設備点検等で全館休館する日があります。

利用状況については、両施設ともに、個人利用、団体利用（イベント、大会のみ）のほか、成人・子ども向け水泳教室の実施を行っています。



【荒川総合スポーツセンター温水プール】



【あらかわ遊園スポーツハウス温水プール】

※休館前

(2) 区内民間プール施設（区近隣施設を含む）

①施設概要

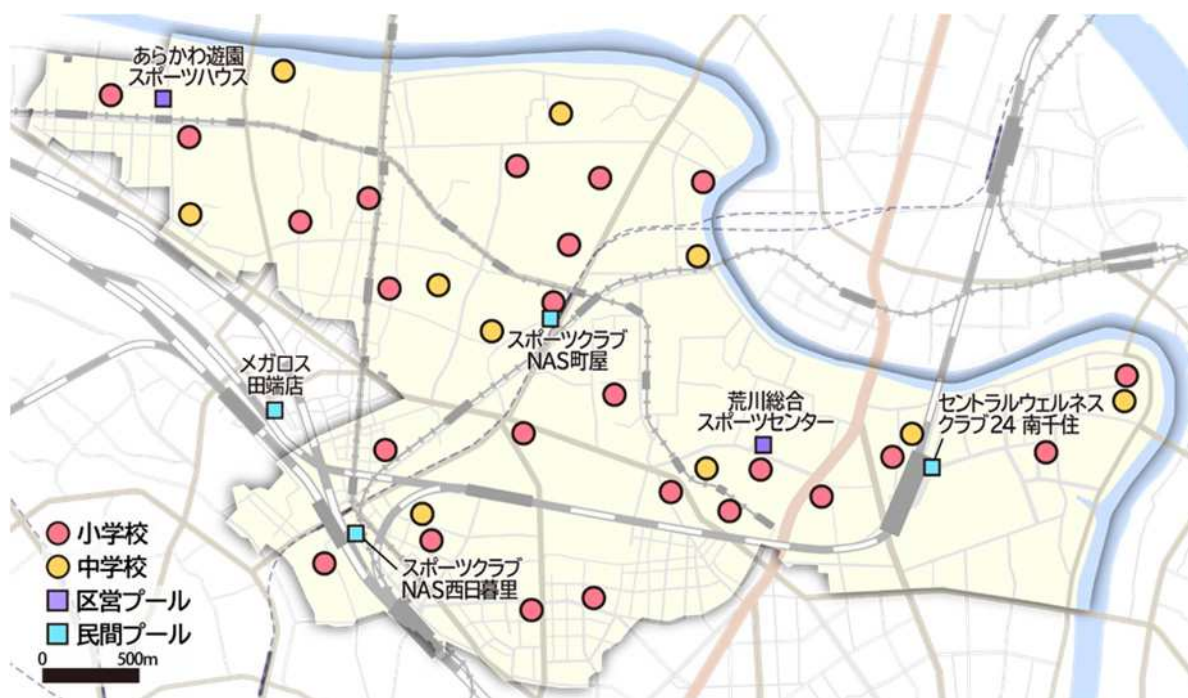
区内及び区近隣の民間プールとして、フィットネスクラブが設置する室内プールが4施設あります。概要を表4-2に示します。

表4-2 区内民間プール施設（区近隣施設含む）の概要

施設名	所在地	コース数		水深	営業日時	送迎バス・バス駐車場
		25m	20m			
スポーツクラブ NAS 西日暮里	荒川区西日暮里 5-20-1	5	—	1.05m プールフロア (水深調整台) にて調整可	平日 10:00～23:00 土曜 10:00～22:00 日・祝 10:00～20:00 (毎週木曜日 及び年末年始は休業)	送迎バス無、バス駐車場無 (マイクロバスであれば地下 に駐車可能)
スポーツクラブ NAS 町屋	荒川区荒川 6-4-9	5	—	1.05m プールフロア (水深調整台) にて調整可	平日 10:00～23:00 土曜 10:00～22:00 日・祝 10:00～20:00 (毎週月曜日 及び年末年始は休業)	送迎バス無、 バス駐車場無
セントラルウェル ネスクラブ 24 南千住	荒川区南千住 4-7-1 BiVi 南千住 4F	7	4	1.00～1.10m プールフロア (水深調整台) にて調整可	平日 9:30 ～ 22:30 土曜 9:00～20:00 日曜 9:00 ～ 19:00 (毎週月曜日及び季節 休暇は休業)	送迎バス有 (27名/台×5台)、 バス駐車場無
スポーツクラブ メガロス 田端	北区東田端 1-17-32	5	—	1.00～1.20m プールフロア (水深調整台) にて調整可	平日 9:30 ～ 23:20 土曜 9:30 ～ 21:20 日祝 9:30 ～ 20:20 (毎週金曜日 及び夏期(盆休)、 年末年始は休業)	送迎バス無、バス駐車場無 (休館日であれば立体駐車場 前の平地に停車可能)

※ヒアリングより（令和6年8月時点）

表4-3 区営及び区内民間プール施設（区近隣施設含む）の配置図



②利用状況

いずれの民間プール施設も毎週平日一日を休業日としています。

利用・稼働状況について、休業日を除いては、平日日中は各種スクールやレッスン等が一部のレーンで開催され、残りのレーンは自由遊泳としており、レーンの稼働状況は高いことが伺えます。

料金体系については、プールだけでなく、ジム、スタジオ等を含めた全体の月額会員制となっています。

（3）民間水泳授業委託試行実施【民間施設活用型】

①実施概要

気象条件に左右されない確実な水泳指導を実施し、児童生徒の水泳技術向上を図るとともに、学校外の屋内プールを活用した水泳授業の実施方法等について検証するため、令和6・7年度に、第六日暮里小学校及び第九中学校において、区内民間スポーツクラブへの水泳授業の指導委託を試行実施しました。概要は以下のとおりです。

なお、試行実施の2校においては、組立式プールという事情もあるため、令和8年度以降も民間スポーツクラブでの水泳授業を継続してまいります。

表4-4 試行実施概要（令和6・7年度）

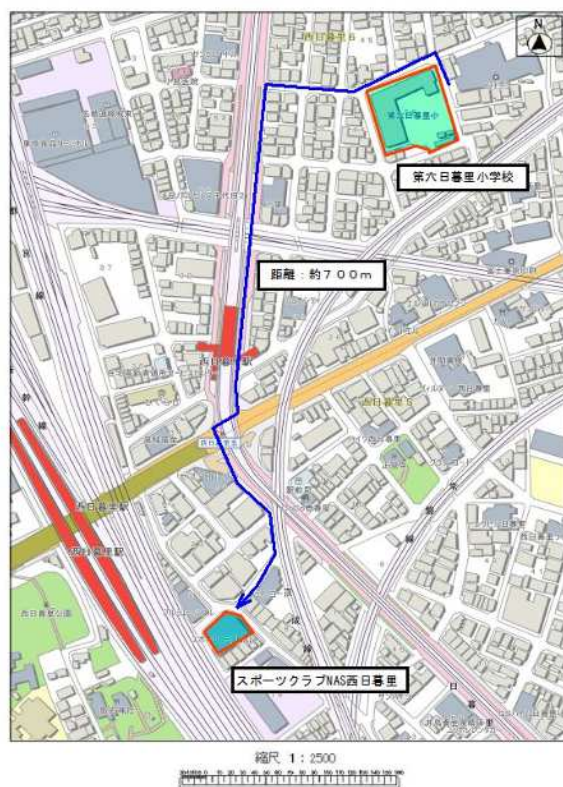
試行実施校	第六日暮里小学校	第九中学校
利用施設	スポーツクラブ NAS 西日暮里	スポーツクラブ NAS 町屋
1学級あたりの授業数 （全体での授業回数）	6回（19回）	6回（18回）
指導時間	60分 （2コマ連続）	
児童生徒数 （各年度5月1日時点）	令和6年度：172人 令和7年度：165人	令和6年度：158人 令和7年度：143人
授業実施単位	2学年ごと（低・中・高） 最大66人／2学年（R6） 最大61人／2学年（R7）	学年ごと 最大58人／学年（R6） 最大57人／学年（R7）
移動手段	徒歩（約10分）	
移動時の見守り員（民間）	令和6年度：有 （低学年グループのみ） 令和7年度：有 （全学年）	令和6年度：無 令和7年度：有 （全学年）
指導員（民間）	5名	
監視員（民間）	1名	
施設利用日・時間帯	休館日（週1日） 9：30～12：00（2回）	休館日（週1日） R6：9：00～15：00（3回） R7：9：00～12：30（3回）
実施期間	6月～9月 ※夏季休業期間を除く	
使用するレーン	全レーン（貸切：一般利用者は施設利用不可）	
経費 （移動時の見守り含む）	令和6年度：6,723,200円 令和7年度：6,927,161円	

＜参考＞組立式プール開設に係る経費

	令和4年度	令和5年度
第六日暮里小	17,121,390円	13,230,800円
第九中	13,953,610円	14,159,200円
合計	31,075,000円	27,390,000円

表4－5 経路図（第六日暮里小学校 - スポーツクラブ NAS 西日暮里）

【往路】



【復路】

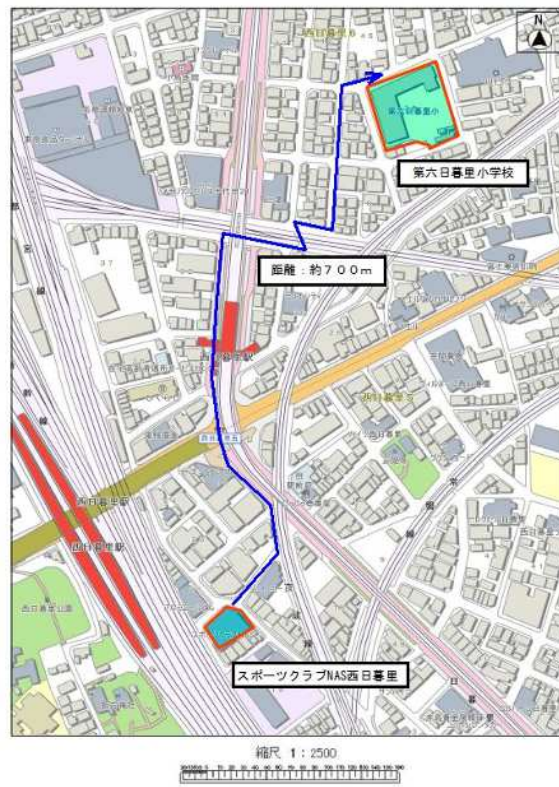
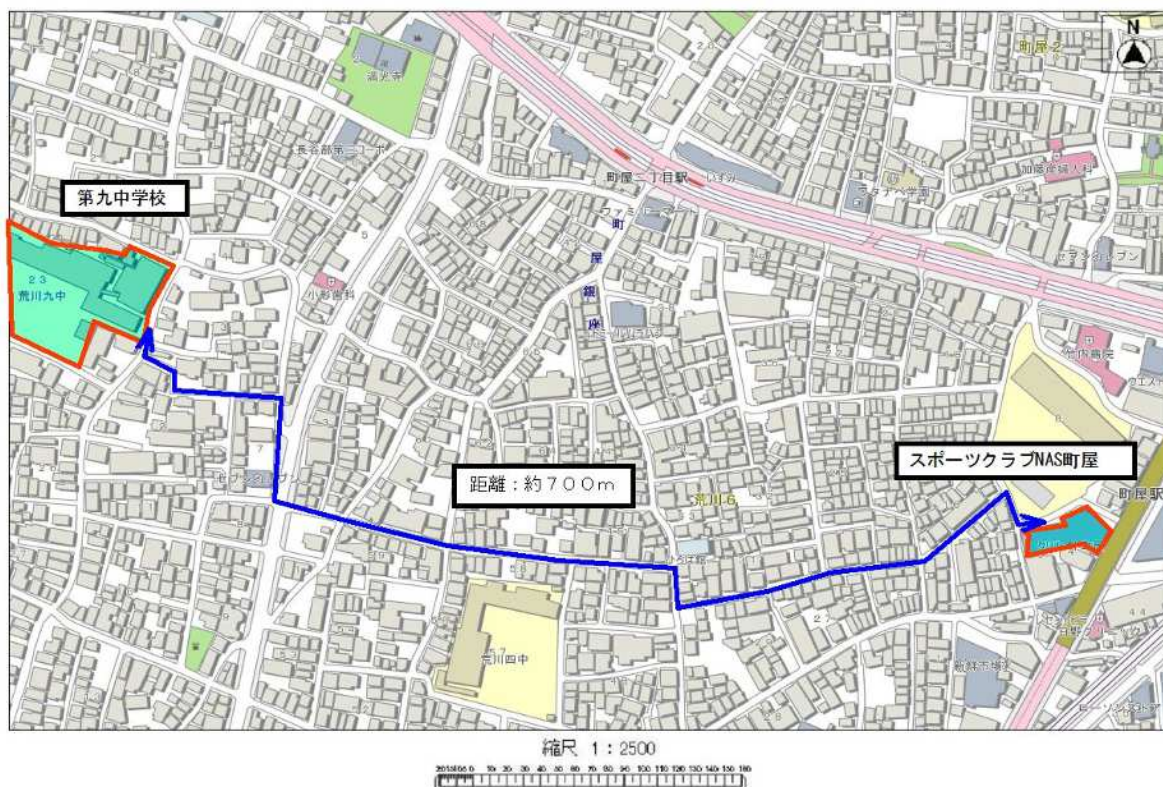


表4－6 経路図（第九中学校 - スポーツクラブ NAS 町屋）



②試行結果

両校ともに、雨天等の天候に関わらず、計画どおりの授業が実施できました。

第六日暮里小学校においては、各学年とも予定どおり6回（高学年は加えて着衣泳1回）の授業を実施し、計10日間の施設利用となりました。出席率は、令和6年度は70～100%（平均 約88%）、令和7年度は75%～100%（平均89%）でした。

第九中学校においては、各学年とも予定どおり6回の授業を実施し、計6日間の施設利用となりました。令和7年度においては、午前中に全学年が実施するよう時間割の調整を図りました。出席率は、令和6年度は39%～87%（平均 約65%）、令和7年度は56%～88%（平均68%）でした。

③実施後アンケート結果

施行実施した両校について、アンケート回答状況は以下のとおりです。

表4-7 実施後アンケート回答状況

実施校	第六日暮里小学校	第九中学校
アンケート 実施期間	令和6年11月1日～20日（20日間） 令和7年10月14日～28日（15日間）	
対象者	児童生徒、教職員及び保護者	
回答状況	令和6年度 / 令和7年度 児 童 183人 / 145人 教職員 16人 / 16人 保護者 134人 / 129人	令和6年度 / 令和7年度 生 徒 130人 / 121人 教職員 8人 / 5人 保護者 15人 / 34人

ア) 児童生徒

児童生徒を対象としたアンケートでは、「スポーツクラブのプールを使った授業について」、「コーチの教え方」、「徒歩でスポーツクラブに向かうこと」、「泳力の向上」、「スポーツクラブでの授業継続」などのアンケートを実施し、全項目で肯定的な回答が得られました。

学校からスポーツクラブへの徒歩移動について、第六日暮里小学校・第九中学校とも、「あまり大変でない」「どちらでもない」の合計が半数以上を占めていますが、「とても大変であった」「大変であった」も一定数回答がありました。一方で、スポーツクラブでの授業やコーチの教え方に対する満足度が高く、泳ぐ力が上達したと実感する児童生徒が多く、泳力向上で一定の効果が確認できました。スポーツクラブでの授業継続については、6割以上が「とても続けたい」「続けたい」との回答でした。

自由意見では、「楽しい」「指導が分かりやすい」等の肯定的な意見のほか、「練習がきつい」「自由時間が欲しい」などの意見が挙げられました。

イ) 教職員

教職員を対象としたアンケートでは、「児童生徒の泳力向上の効果」、「スポーツクラブでの水泳授業における児童生徒の評価」、「移動に伴う教員負担」、「授業の進行管理」、「スポーツクラブでの授業

継続」などのアンケートを実施し、全項目で概ね肯定的な回答が得られました。

小学校は学級担任制、中学校は教科担任制であることから、第六日暮里小学校と第九中学校の回答の傾向は、若干異なる結果となりました。スポーツクラブでの水泳授業における児童生徒の評価について、第六日暮里小学校では、「十分な評価ができた」という回答が9割を占めた一方で、第九中学校では、実際に指導したうえで評価することが適切との意見が多く、「どちらでもない」という回答が9割を占めました。

また、第九中学校においては、体育科以外の教員が移動の引率に加わっていたことから、移動に伴う引率の負担について、「許容範囲を超えている」という回答が約4割を占めました。

一方で、民間指導員による児童生徒の泳力向上の効果、今後の水泳指導については、両校ともに肯定的な回答が多くを占めました。

ウ) 保護者

保護者を対象としたアンケートでは、「スポーツクラブで水泳授業を受けた子どもの様子」、「スポーツクラブでの授業継続」などのアンケートを実施し、スポーツクラブで水泳授業を受けた子どもの様子として「楽しそうだった」という回答が約6～8割程度を占めました。また、スポーツクラブでの水泳授業を次年度以降も継続してほしいという回答は約8～9割を占めました。

自由意見としては、「天候に影響されず水泳授業を実施できる」や「レベルに合わせたコーチ指導」について肯定的な意見を得た一方で、2時間（2コマ）続けての授業の身体的・精神的疲労を心配する意見やプールサイドに教職員がいないことを心配する意見等が挙げられました。

※令和6年度のアンケートでのご意見等を踏まえて、令和7年度には、教員のプールサイドでの見守り、移動中の見守り人員の増員など対応しました。



【第九中学校試行実施の様子】

(4) 民間水泳指導員による水泳授業委託試行実施【指導員派遣型】

①実施概要

学校プールへ民間スポーツクラブの指導員を派遣し、児童生徒の水泳技術向上や学校の負担軽減、今後の複数校での共同利用を見据えた指導方法等について検証するため、令和7年度に、天候等によって授業が中止になりにくい、屋内プール（開閉式屋根）である汐入東小学校と諏訪台中学校において、学校プールへ指導員を派遣し、水泳授業の委託を試行実施しました。概要は以下のとおりです。

表4－8 試行実施概要（令和7年度）

試行実施校	汐入東小学校	諏訪台中学校
1学級あたりの授業数 （全体での授業回数）	5回（全30回）	4回（全28回） ※上記以外は教員が授業を実施 ※指導員による授業を受けた のは、1・2年生のみ
指導時間	60分 （2コマ連続）	50分
児童生徒数 （各年度5月1日時点）	445人	481人 ※1・2年生のみ
授業実施単位	学年ごと	複数学級ごと
指導方法	泳力別にグループ分けを行い指導。指導は、民間指導員が中心。	
指導員（民間）	1～2年生：6名 3～6年生：5名	3名
実施期間	6月～7月	6月～9月 ※夏季休業期間を除く
経費	3,872,000円	2,003,760円

②試行結果

試行実施では、指導の中心は民間指導員、生活面の指導や安全管理は教員が行うと役割を定めて実施しました。

汐入東小においては、各学年5回の授業を実施し、2・4・6年生については、うち1回を着衣水泳の授業としました。実施後の振り返りにおいて、教員から、「指導の仕方が参考になった」、「負担の軽減となった」、「着衣水泳についてとても参考になった」、との意見がありました。

諏訪台中においては、1・2年生が各4回の授業を実施しました。教科担任制もあり、専門の体育教員がいるため、指導に関する部分では、小学校に比べて、派遣の必要性は低いと感じられました。しかし、水泳が苦手な生徒への技能習得、効率的な授業運営、安全面の強化については一定の成果が見られました。

③実施後アンケート結果

施行実施した両校について、アンケート回答状況は以下のとおりです。

表4－9 実施後アンケート回答状況

実施校	汐入東小学校	諏訪台中学校
アンケート 実施期間	令和7年7月1日～16日 (16日間)	令和7年10月1日～10月15日 (15日間)
対象者	児童生徒、教職員及び保護者	
回答状況	児 童 362 人 教職員 14 人 保護者 236 人	生 徒 258 人 教職員 2 人 保護者 90 人

ア) 児童生徒

児童生徒を対象としたアンケートでは、「指導員による授業について」、「指導員の教え方」、「泳力の向上」、「指導員による授業継続」などのアンケートを実施し、概ね肯定的な回答が得られました。

指導員による授業について「とても楽しかった」「楽しかった」が8割から9割を占めるほか、指導員の教え方についても「とてもよかった」「よかった」が9割を占め、指導員による水泳授業の満足度が高い回答が得られました。

一方で、泳力向上については、汐入東小学校では、8割以上が上達したと実感していますが、諏訪台中学校では、上達したと感じているのは6割に留まり、4割が「あまり上達しなかった」「変わらない」と回答をしています。また、指導員による授業の継続についても、汐入東小学校では、7割以上が継続を望むも、諏訪台中学校では、継続を望むのは4割に留まり、「どちらでもよい」が5割という結果となりました。

自由意見としては、指導方法が分かりやすいといった声が多くあった一方で、休憩時間や自由時間を望む声も一定数挙げられました。

イ) 教職員

教職員を対象としたアンケートでは、「児童生徒の泳力向上の効果」、「教員の負担軽減」、「児童生徒の評価」「指導員派遣の継続」などについてアンケートを実施し、概ね肯定的な回答が得られました。

諏訪台中学校において、生徒の評価に関して、統一した指導ができない場合があるという意見がありました。一方で、教員の負担軽減については、「負担軽減に繋がった」「ある程度負担軽減に繋がった」と全ての教員から回答が得られました。

また、児童生徒の泳力向上や指導員派遣の継続についても、全ての教員から、泳力向上の効果があり、継続することが望ましいとの回答が得られました。

自由意見としては、指導員が中心となるため児童一人一人に目が行き届くことにより安全面において安心するといった意見などがありました。

ウ) 保護者

保護者を対象としたアンケートでは、「指導員による授業を受けた子どもの様子」、「指導員による指導の継続」などについてアンケートを実施し、汐入東小学校と諏訪台中学校で大きく違う結果となりました。

汐入東小学校では、指導員の指導を受けた子ども様子として「楽しそうだった」や、指導員による指導の継続として「継続して欲しい」、が共に約7割と一定の効果があったと言えますが、諏訪台中学校では、子どもの様子として「楽しそうだった」が、約4割に留まるとともに、指導の継続として「継続して欲しい」は、約5割に留まる結果となりました。

さらに、両校共通事項として、少数ではあるものの教員のみの指導を望む回答も見られました。

自由意見としては、プロの指導員に教えてもらえることへの感謝や教員負担の軽減を望む意見が多く挙げられました。



【汐入東小学校施行実施の様子】

5 ケースごとの経費比較

(1) 今後の水泳授業で想定されるケースの整理

他自治体の事例などから、現在の学校に整備されているプールでの授業を含めて、想定されるケースを整理します。

表5-1 想定されるケース

ケース	概要
①自校式	各学校にプール（屋内又は屋外）を整備し、利用する方法
②拠点校方式	拠点校となる学校にのみ屋内プールを整備し、近隣の複数校で共同利用する方法
③区営施設活用	学校にはプールを整備せず、区営のプール施設を利用し、水泳授業を実施する方法
④民間施設活用	学校にはプールを整備せず、民間のプール施設を利用し、水泳授業を実施する方法

上記4つのケースにおける一般的なメリット・デメリットは、表5－2のとおりです。

表5－2 想定されるケースのメリット・デメリット

ケース	メリット	デメリット
①自校式	・学校利用を前提とした施設であるため、利用の自由度が高い ・屋内プールの場合、天候に左右されず計画的な授業実施が可能 ・夏季水泳指導等の柔軟な実施が可能 ・屋内プールの場合、学校プールとして利用しない期間や時間帯において、一般用プールとして活用できる	・維持管理費のほか、施設を新設する場合は、建設費も発生する ・学校プール施設の維持・管理に関する教員の作業負担が生じる ・屋外プールの場合、天候等により実施ができない日が発生する
②拠点校方式	・学校利用を前提とした施設であるため、利用の自由度が高い ・屋内プールの場合、天候に左右されず計画的な授業実施が可能 ・夏季水泳指導等の柔軟な実施が可能 ・屋内プールの場合、学校プールとして利用しない期間や時間帯において、一般用プールとして活用できる	・拠点校では、他校を受け入れる施設面や体制面での負担が生じる ・移動の際、教員の負担が増す ・新たにプールを新設する場合、建設費、維持管理費が発生する ・拠点校では、学校プール施設の維持・管理に関する教員の作業負担が生じる（維持管理まで委託する場合を除く） ・屋外プールの場合、天候等により実施できない日が発生する
③区営施設活用	・初期費用が軽微 ・学校プール施設の維持・管理に関する教員の作業負担が軽減される	・貸切使用とする場合、一般利用者の利用を制限することになり、受け入れ可能な授業回数に限られる ・事故が起きた際の責任の所在などを契約において明記しておくなどの対応が必要 ・利用料が発生する ・移動における教員の負担が増す ・指定管理施設であり、指定管理者の変更の都度、調整が必要
④民間施設活用	・初期費用が軽微 ・学校プール施設の維持・管理に関する教員の作業負担が軽減される	・受け入れが施設の休館日のみであり、受け入れ可能な授業回数に限られる ・事故が起きた際の責任の所在などを契約において明記しておくなどの対応が必要 ・利用料が発生する ・移動における教員の負担が増す ・民間プールの廃止や方針変更があった際、プール授業が実施できない

（2）想定されるケースごとの経費比較

①求められる機能・設備

比較のため、求められる機能・設備は自校式プール及び拠点校式プールの両方について定めます。
 全校に自校プールを整備する場合、従来どおり屋外又は屋上へのプール設置を基本とし、加温、空調

機能は必要ないものとします。

拠点校プールを整備する場合は屋内を前提とします。また、小学生と中学生の共同利用が想定されますが、プールフロア等での調整を想定し、可動床は設けない条件とするとともに、天候に左右されず、現状よりも長い期間の活用を視野に入れることを前提とし、加温、空調機能を設置します。

②規模設定及び規模ごとの建設条件

上記①を踏まえ、自校式プールと拠点校式プールそれぞれのケースにおける建設条件を以下に示します。なお、拠点校式プールは、一般区民への開放を想定した諸室設定とします。

表 5－3 自校式プールの建設条件

設置		屋外・屋上設置（底）
必要諸室	プール規模	25m×6レーン 約 780 m ²
	関連諸室 ※更衣室、トイレ、監視員室、器具庫、機械室	約 144 m ²
合計		約 924 m ²

表 5－4 拠点校式プールの建設条件

設置		屋内設置（固定屋根）
必要諸室	プール規模	25m×6レーン 約 780 m ²
	関連諸室 ※更衣室、トイレ、監視員室、器具庫、機械室	約 144 m ²
	開放用諸室 ※玄関、受付	約 72 m ²
	追加機械室 ※ボイラー、空調	約 72 m ²
合計		約 1,068 m ²

③自校式プールの経費算定

自校式プールにおける、イニシャルコスト、ライフサイクルコスト及びその他の委託費の算定は以下のとおりです。

表 5－5 自校式プールのイニシャルコスト（税抜）

項目	経費	算定根拠
建設費	163,560,000 円	・屋上式を想定 ・付属諸室、プール底、プールシート、 プール缶体、ろ過機の経費を想定
解体費	48,048,000 円	
合計	211,608,000 円	
合計（1年あたり）	2,645,100 円	更新周期 80 年と想定

※今後の物価上昇に応じて適切に補正が必要

表５－６ 自校式プールのライフサイクルコスト（税抜）

項目	面積	経費	算定根拠
修繕費・更新費	924 m ²	2,106,250 円／年	プール槽、ろ過機、配管等を想定周期での修繕・更新を見据え、LCC80 年として算出
衛生・清掃費	924 m ²	862,633 円／年	過去実績（プール清掃、検査試薬・消毒液、水質検査等）
光熱水費	924 m ²	754,110 円／年	過去実績（水道代）
合計		3,722,993 円／年	

表５－７ 自校式プールのその他委託費（税抜）

項目	年間経費	算定根拠
指導委託費	4,410,000 円／校	・民間委託の試行及びサウンディング結果を反映 ・試算 1 小学校あたり平均 70 人×1,500 円／人×7 回×6 学年＝4,410,000 円／校
施設管理委託費	8,333,333 円／校	・サウンディング結果として、年間経費（1 施設あたり 3 名常駐、設備管理及び清掃業務）を把握 ・このうち、自校式プールの設備であることを踏まえて、2 名常駐相当の 90 日分を計上

※今後の物価上昇に応じて適切に補正が必要

表５－８ 自校式プールの経費まとめ（税抜）

表５－７の委託費	年間経費	内訳
含まない場合	6,368,093 円／校	イニシャルコスト＋ライフサイクルコスト
含む場合	18,248,793 円／校	イニシャルコスト＋修繕費・更新費 ＋光熱水費＋施設管理委託費＋指導委託費 (衛生・清掃費は委託に含むため除く)

④拠点校式プールの経費算定

拠点校式プールにおける、イニシャルコスト、ライフサイクルコスト及びその他の委託費、また、拠点校への移動に係る費用の算定は以下のとおりです。

表 5－9 拠点校式プールのイニシャルコスト（税抜）

項目	経費	算定根拠
建設費	389,020,000 円	・ 屋内を想定 ・ 付属諸室、プールシート、プール缶体、ろ過機、空調機、ボイラー等の経費を想定
解体費	55,536,000 円	
合計	444,556,000 円	
合計（1 年あたり）	5,556,950 円	更新周期 80 年と想定

※今後の物価上昇に応じて適切に補正が必要

表 5－10 拠点校式プールのライフサイクルコスト（税抜）

項目	面積	年間経費	算定根拠
修繕費・更新費	1,068 m ²	6,171,000 円／年	プール槽、ろ過機、配管等を想定周期での修繕・更新を見据え、LCC80 年として算出
衛生・清掃費	1,068 m ²	1,501,266 円／年	区内施設事例及び自校式実績を参考に算定
光熱水費	1,068 m ²	5,754,110 円／年	区内施設事例及び自校式実績を参考に算定
合計		13,426,376 円／年	

表 5－11 拠点校式プールのその他委託費（税抜）

項目	年間経費	算定根拠
指導委託費	4,410,000 円／校	（自校式プールと同様）
施設管理委託費	25,000,000 円／校	・ サウンディング結果として、年間経費（1 施設あたり 3 名常駐、設備管理及び清掃業務）を把握 ・ 2 名常駐相当の 180 日分を計上

※今後の物価上昇に応じて適切に補正が必要

表5-12 拠点校式プールへの移動に係る経費（税抜）

項目	年間経費	算定根拠
バス送迎費 (借上)	4,200,000 円/校	バス事業者見積もり ・ 区間：対象校1か所～拠点校1か所 ・ 時間：8:45～15:20（1日3往復） ・ 車種：大型バス（ワンマン運転）2台 ※バス待機場所が確保できない場合、駐車料金は別途必要 ・ 14日分として算定
徒歩移動時の 随行費 (見守り)	1,000,000 円/校	・ 民間委託試行時の見積もり及び実績より試算 ・ 時間：8:45～15:20（1日3往復） ・ 2人 ・ 14日分として算定

※令和6年度時点の算定であり、今後の物価上昇に応じて適切に補正が必要

表5-13 拠点校式プールの経費まとめ（税抜）

表5-11の委託費	共同利用校数	1校あたりの年間経費		
		徒歩移動	バス移動	(参考)拠点校
含まない場合	共同利用なし	—	—	18,983,326 円
	2校で利用	10,491,663 円	13,691,663 円	9,491,663 円
	3校で利用	7,327,775 円	10,527,775 円	6,327,775 円
	4校で利用	5,745,832 円	8,945,832 円	4,745,832 円
	5校で利用	4,796,665 円	7,996,665 円	3,796,665 円
含む場合	共同利用なし	—	—	46,892,060 円
	2校で利用	26,651,030 円	29,851,030 円	25,651,030 円
	3校で利用	19,570,687 円	22,770,687 円	18,570,687 円
	4校で利用	16,030,515 円	19,230,515 円	15,030,515 円
	5校で利用	13,906,412 円	17,106,412 円	12,906,412 円

※1校あたりの年間経費（徒歩移動又はバス移動）＜委託費を含む場合＞

＝（イニシャルコスト＋修繕費・更新費＋光熱水費＋施設管理委託費）／共同利用校数＋指導委託費＋徒歩随行費又はバス移動費

⑤区営・民間施設活用経費算定

区営・民間施設活用の経費算定については、現状の民間水泳授業委託試行実施【民間施設活用型】にかかる経費をベースに算定することとします。

イニシャルコストは、既に営業している施設を活用するため掛かりません。ライフサイクルコストでは、既存の施設を利用するため施設利用料を計上、その他の委託費として指導委託費、また、移動に係る費用の算定は以下のとおりです。

表 5-14 民間施設活用のライフサイクルコスト（税抜）

項目	年間経費	算定根拠
施設利用料	1,400,000 円／校	1 日あたり 3 回の授業利用を想定 1 校あたり 1 4 日間の施設利用として想定 (施設利用料¥100,000×14 日間)

表 5-15 民間施設活用のその他委託費（税抜）

項目	年間経費	算定根拠
指導委託費	4,410,000 円／校	(自校式・拠点校式と同様)

表 5-16 民間施設活用の移動に係る経費（税抜）

項目	年間経費	算定根拠
バス送迎費（借上）	4,200,000 円／校	(拠点校式と同様)
徒歩移動時の随行費 (見守り)	1,000,000 円／校	(拠点校式と同様)

表 5-17 民間施設活用の経費まとめ

表 5-15 の 委託費	移動手段	年間経費	内訳
含まない場合	徒歩移動	2,400,000 円／校	ライフサイクルコスト＋徒歩随行費
	バス移動	5,600,000 円／校	ライフサイクルコスト＋バス送迎費
含む場合	徒歩移動	6,810,000 円／校	ライフサイクルコスト＋徒歩随行費 ＋委託費
	バス移動	10,010,000 円／校	ライフサイクルコスト＋バス送迎費 ＋委託費

⑥ 1 校又は 1 施設あたりの年間経費比較

自校式プール、拠点校式プール、民間施設活用とそれぞれについて、1 校又は 1 施設あたりの年間経費を比較すると以下のとおりとなりました。なお、指導委託費を含む場合と含まない場合それぞれで比較することとします。

表 5-18 指導委託費等を含まない場合の年間経費比較

ケース	移動手段	年間経費	内訳
自校式プール	—	6,368,093 円／校	
拠点校式プール	徒歩移動	5,745,832 円／校	4 校での共同利用
	バス移動	8,945,832 円／校	4 校での共同利用
民間施設活用	徒歩移動	2,400,000 円／校	
	バス移動	5,600,000 円／校	

表5－19 指導委託費等を含む場合の年間経費比較

ケース	移動手段	年間経費	内訳
自校式プール	—	18,248,793 円／校	
拠点校式プール	徒歩移動	16,030,515 円／校	4校での共同利用
	バス移動	19,230,515 円／校	4校での共同利用
民間施設活用	徒歩移動	6,810,000 円／校	
	バス移動	10,010,000 円／校	

委託費を含まない場合、含む場合ともに、民間施設を活用し、徒歩移動する場合に、1校あたりの年間経費が最も低くなりました。さらにバス移動の場合においても、現状と同様の自校式プールを維持するよりも経費が抑えられます。拠点校式プールについては、委託費を含まず、徒歩移動の場合、4校での共同利用で自校式プールよりも経費が抑えられる結果となりました。また、委託費を含む場合においても、同様の結果となりました。バス移動においては、委託費を含まない場合、含む場合ともに、4校での共同利用では、自校式プールの方が経費を抑えられる結果となりました。

6 学校プール施設整備方針

(1) ケース別の検討・評価

経費のみならず、様々な視点からケースごとの評価を行います。

表6－1 ケース別の評価

視点	自校式	拠点校式	区営・民間施設活用
授業実施	○ 天候等に左右される	◎ 天候等に左右されない	◎ 天候等に左右されない
指導環境	○ 従来通りの教員による指導	◎ 指導委託により指導力の向上が期待できる	◎ 指導委託により指導力の向上が期待できる
施設管理等	△ 負担が大きい	○ 施設管理を外部委託する場合、教職員の負担が軽減する	◎ 施設管理等の負担はない
安全管理	○ 負担が大きい	○ 指導委託をした場合、安全管理に注力できる	◎ 指導委託により安全管理に注力できる
移動	◎ 移動なし	○ 拠点校以外の学校は移動の負担及び見守りの負担が大きい	△ 移動の負担及び見守りの負担が大きい
水泳以外の授業への影響	◎ 影響なし	△ 共同利用校との調整や変則的な時間割が必要な場合がある	△ 変則的な時間割が必要な場合がある
学校施設の充実又は有効活用	△ 校舎や校庭が圧迫される	○ 拠点校以外はプール設備が不要 拠点校において、区民開放等の活用が可能	◎ プール設備は不要
経費	△ 従来通りの費用負担	○ 4校程度の共同利用で自校式より低コスト	◎ 最も低コスト
消防水利	○ 活用が可能	△ 必要に応じて代替機能の確保が必要	△ 必要に応じて代替機能の確保が必要

凡例：◎優位、○普通、△劣位

(2) 今後の学校プール施設整備の基本的な考え方

これまでの経費比較や評価等を踏まえて、学校ごとのプール施設整備の検討にあたっては、次の考え方に基づくものとします。

区内の学校プールは、現状すべて自校式であり、良好に維持管理がなされています。一方で、適切な公共施設マネジメントの観点や、天候に左右されない安定的な授業実施、児童生徒の安全確保、教職員の施設管理の負担軽減、水泳指導上の課題及び区内の土地・建物を最大限に活用して有用性の高い教育環境を整備する必要性を踏まえると、各学校における自校式プールの設置を見直し、集約化や区営・民間施設の活用等を進める必要があります。

今後、学校施設の建替えにあたり、複数の学校において屋内プールを共同利用することを前提とし、拠点校の選定、グルーピング等を検討するとともに、区営又は民間施設についても活用を進めます。

また、プール形式に関わらず、水泳授業の充実、安全性の確保及び指導に係る教職員の負担軽減等を目的とし、水泳指導の民間委託についても検討していきます。

①拠点校化

経済的合理性や効率的な学校敷地利活用の観点から、学校施設の建替えにあたっては、拠点校化を検討します。

屋外プールの場合、天候の影響を受け、2校以上での授業計画実現が困難となることから、拠点校とする学校は、原則として建替え時に屋内プールを整備し、拠点校となる学校の施設管理の負担軽減の観点から施設管理の委託化等を検討します。また、拠点校の中で3～4校程度の複数校の利用を想定する場合には、屋内温水プールの整備を検討します。

また、現状開閉式屋根が設置されているプールを有する学校もあり、これを拠点校化することや、敷地上的な制約から拠点校を整備することが難しい学校、若しくは、移動の長距離化等の理由で他校の利用が困難な学校等については、暑さ対策等を検討した上で自校式プールとすることも検討します。

②拠点校式におけるグルーピング

授業時間の確保、時間割の組みやすさ、経費負担軽減の観点から、3～4校程度の拠点校化を原則とします。ただし、学校規模や児童生徒の移動負担に配慮し、2校程度での共同利用も可能とします。(区全体で10施設程度を想定)。コスト面の課題、及びバスの寄り付きが困難な学校もあることから、原則として、徒歩移動が可能な学校を優先としてグルーピングを想定します。

移動距離は、徒歩15分(歩行速度50m/分とした場合、750m程度)を目安とし、バス移動は、乗降時間等を踏まえて乗車時間10分を目安とします。幹線道路の横断を避ける等、移動時の安全性を考慮したグルーピングとすることが望ましいです。中学校を拠点校とする場合は、原則として同学区の小学校とグルーピングする(進学先の中学校プールを利用する)ことが望ましいですが、これに限定するものではありません。

③区営・民間施設の活用

1校あたりの経済性が最も優位となる区営又は民間施設活用は、拠点校整備までの期間や、距離が近接するなど利便性の高い学校を中心に、施設側との調整が可能な範囲で活用します。安全かつ円滑な運営上、休館日や平日の一定時間において、一般利用者との混在を避けた運営が望ましく、原則として1施設に対し、1校の受入れを想定します。ただし、区営・民間施設に近く、夏季期間以外でも移動に支障がないと判断される場合には、1施設に複数の学校が通うことも検討します。

区営・民間施設の活用を検討する学校は、拠点校式における移動距離と同様徒歩15分を目安に検討することとします。

現状の区営・民間施設から徒歩15分の移動距離にある学校は、それぞれ施設ごとに表6-2のとおりです。

表6-2 区営・民間施設活用の検討校

区 営 施 設	荒川総合スポーツセンター	瑞光小学校	第二瑞光小学校
		第六瑞光小学校	第一中学校
	あらかわ遊園スポーツハウス	尾久西小学校	尾久第六小学校
		第七中学校	尾久八幡中学校
民 間 施 設	スポーツクラブ NAS 西日暮里	第一日暮里小学校	第六日暮里小学校※
		ひぐらし小学校	諏訪台中学校
	スポーツクラブ NAS 町屋	峡田小学校	第二峡田小学校
		第四峡田小学校	第五峡田小学校
		第九峡田小学校	第四中学校
		第九中学校※	
	セントラルウェルネスクラブ 24 南千住	第二瑞光小学校	第三瑞光小学校
		汐入小学校	南千住第二中学校
	スポーツクラブメガロス田端	第六日暮里小学校	

※第六日暮里小と第九中では、現在民間施設を活用中

④水泳指導の民間委託

特に小学校においては、体育授業の教科担任制がとられていないことから、教職員の負担が大きく、指導にばらつきがある等の課題があります。また、教員のみでの指導では、人数不足等により監視の目が行き届きにくいなど課題もあります。これらの課題を踏まえ、プール形式にかかわらず、水泳指導の民間委託を検討します。

ただし、民間事業者側の人員体制、教職員の指導範囲、役割分担等については、更なる協議・検討を行う必要があります。

(3) 拠点校候補校及びグルーピング検討

拠点校となる学校は、近隣複数校との距離、建替え後の屋内プールの設置の可否等を考慮して選ぶこととします。また、原則として徒歩で通える範囲内でのグルーピングを組むこととします。

区営・民間施設が使用できない場合も想定し、全ての学校が拠点校式での授業が実施できるようグルーピングします。そのうえで、区営・民間施設の活用も進めます。

表6-3 拠点校候補校とグルーピング案

拠点校候補校	利用校		
第二瑞光小学校	第三瑞光小学校	南千住第二中学校	
汐入東小学校 ※1※2	汐入小学校	第三中学校	
第二峡田小学校	峡田小学校	第九峡田小学校	第四中学校
第七峡田小学校	第四峡田小学校	第五中学校	
赤土小学校	尾久小学校	尾久宮前小学校	第九中学校
大門小学校	第五峡田小学校	原中学校	
第三日暮里小学校	第二日暮里小学校		
第一中学校	瑞光小学校	第六瑞光小学校	第三峡田小学校
第七中学校	尾久西小学校	尾久第六小学校	尾久八幡中学校
諏訪台中学校 ※1	第一日暮里小学校	第六日暮里小学校	ひぐらし小学校



- ※ 1 開閉式屋根を有するため、拠点校とできるか検討を進める。なお、両校ともに、夏季期間以外の水泳授業を実施しない時期については、プールの可動床に人工芝を敷き、体育授業等で活用しているため、拠点校とできるかは、引き続き検討していく。
- ※ 2 汐入東小は、令和 15 年度末で汐入小と統合予定であり、他校の建替え中の代替校舎となるが、校舎は改修して引き続き使用するため、拠点校として活用できるか検討する。

(4) 拠点校整備までの既存施設への対応

近年の酷暑により、水泳授業や夏季休業中のプールの実施が難しくなっていることから、プール施設への暑さ対策を実施する必要があります。令和 8 年度に、暑さ対策を推進するにあたり、プールサイド及びプール槽に可動式の遮熱シートを試行的に設置しています。

また、他自治体においては、暑さ対策として上部からのミストによる散水やプールサイドに灌水装置の設置等の事例も見られるため、試行による遮熱シートの効果検証も含めて、効果が期待される暑さ対策を進める必要があります。

＜参考資料＞

民間水泳授業委託施行実施【民間施設活用型】及び
民間水泳指導員による水泳授業委託施行実施【指導員派遣型】実施後アンケート結果

	第六日暮里小学校（回答数：183人）	第九中学校（回答数：130人）
水泳授業の回数について、どう思いますか。	多かった 19.7% ちょうどよい 50.3% 少なかった 30.1%	多かった 14.6% ちょうどよい 69.2% 少なかった 16.2%
スポーツクラブのプールを使った水泳の授業について、どう思いますか。	楽しくなかった 4.4% とても楽しかった 47.5% 楽しかった 41.0% あまり楽しなかった 7.1%	楽しくなかった 2.3% とても楽しかった 33.8% 楽しかった 55.4% あまり楽しなかった 8.5%
スポーツクラブのコーチの教え方について、どう思いますか。	よくなかった 0.5% とてもよかった 47.0% よかった 44.3% あまりよくなかった 8.2%	よくなかった 0.0% とてもよかった 44.6% よかった 46.9% あまりよくなかった 8.5%
スポーツクラブでの水泳の授業を受けて、あなたの泳ぐ力はどのように変わりましたか。	かなり上達した 28.4% 少し上達した 49.7% 変わらない 9.8% あまり上達しなかった 12.0%	かなり上達した 26.2% 少し上達した 48.5% 変わらない 13.8% あまり上達しなかった 11.5%
学校からスポーツクラブに歩いて向かいましたが、このことについて、どう思いますか。	とても大変だった 8.2% 大変だった 25.7% どちらでもない 16.4% 大変ではなかった 49.7%	とても大変だった 14.6% 大変だった 29.2% どちらでもない 16.9% 大変ではなかった 39.2%

	第六日暮里小学校（回答数：183人）	第九中学校（回答数：130人）
スポーツクラブでの水泳授業を、これからも続けたいですか。	とても続けたい 41.5% 続けたい 31.1% どちらでもよい 15.3% 学校のプールでの水泳授業がよい 12.0%	とても続けたい 26.2% 続けたい 38.5% どちらでもよい 26.9% 学校のプールでの水泳授業がよい 8.5%
自由回答	・とてつもなく楽しかった ・指導がわかりやすかった ・屋内の温度がちょうどよかった ・プールも綺麗だった ・私みたいに水泳が苦手な人は、スポーツクラブでの水泳授業を続けた方がいい ・もっと行きたい ・泳がされすぎて息が続かなかった ・学校がいい ・スポーツクラブでの水泳のほうが安心感があるが、楽しさは学校のほうがあったかもしれない 等	・楽しかった ・天候に左右されず、決まった期間で練習することで、外でやるよりも、効率よく泳ぎ方が定着したように感じた ・初めて校外での水泳でしたが、スポーツクラブの方に詳しく教えてもらえてよかった ・最初は緊張などあったが、慣れたらずっとやりたいと思えた ・室内なので、外の温度に影響しないところが良い ・もっと長い距離を泳ぎたかった ・練習が結構きつかったが、体力上がった 等

	第六日暮里小学校（回答数：16人）	第九中学校（回答数：8人）
民間スポーツクラブの指導員が指導することによる児童生徒の泳力向上の全体的な効果について、あてはまる項目を選んでください。	ある程度効果はあった 0.0% あまり効果はなかった 0.0% 効果は大きかった 100.0%	あまり効果はなかった 0.0% 効果はなかった 0.0% 効果は大きかった 37.5% ある程度効果はあった 62.5%
学校のプールと比べて、水泳学習に取り組む児童生徒の変容について、あてはまる項目を選んでください。	特に変化はなかった 0.0% 意欲的に取り組む子が減った 0.0% 意欲的に取り組む子がある程度増えた 12.5% 意欲的に取り組む子が増えた 87.5%	意欲的に取り組む子が減った 0.0% 意欲的に取り組む子が増えた 25.0% 特に変化はなかった 37.5% 意欲的に取り組む子がある程度増えた 37.5%
民間スポーツクラブ施設での水泳学習を行う場合、教員以外の民間指導員は必要かどうか、あてはまる項目を選んでください。	民間プール指導員の補助が必要（指導のメインは教員） 0.0% 施設を借りて教員が指導すべき 0.0% 民間プールの指導員の指導が必要である 100.0%	指導のメインは教員で、民間プール指導員の補助が必要である 25.0% 施設を借りて教員が指導すべき 0.0% 民間プールの指導員の指導が必要である 75.0%
今回の民間スポーツクラブ施設での水泳学習における児童生徒の評価について、あてはまる項目を選んでください。	どちらとも言えない 6.3% 適切な評価ができなかった 0.0% 十分な評価ができた 93.8%	適切な評価ができなかった 0.0% 十分な評価ができた 12.5% どちらとも言えない 87.5%
複数の指導員、監視員による安全管理体制について、あてはまる項目を選んでください。	やや足りなさを感じたが、人員に変更の必要はない 0% 十分であったため、人員を減らしても問題ない 6% 適切な体制であり、人員に変更の必要はない 94%	やや足りなさを感じたが、人員に変更の必要はない 0.0% 十分であったため、人員を減らしても問題ない 25.0% 適切な体制であり、人員に変更の必要はない 75.0%

	第六日暮里小学校（回答数：16人）	第九中学校（回答数：8人）
各学年 6 回の水泳学習を設定しましたが、実施回数について、あてはまる項目を選んでください。	少ない 6.3% 多い 0.0% ちょうどよい 93.8%	少ない 12.5% 多い 0.0% ちょうどよい 87.5%
天候の影響を受けずに計画的な水泳指導ができることについて、あてはまる項目を選んでください。	ある程度効果がある 0.0% あまり効果がない 0.0% 効果が大 100.0%	あまり効果がない 0.0% ある程度効果がある 50.0% 効果が大 50.0%
移動が必要となることでの指導計画への影響について（指導時間、他の授業時間、休憩時間、給食の時間など）、あてはまる項目を選んでください。	影響が大きく、許容の範囲を超えている 0.0% 特に影響はない 43.8% 影響はあるが、許容できる範囲である 56.3%	特に影響はない 12.5% 影響はあるが、許容できる範囲である 50.0% 影響が大きく、許容の範囲を超えている 37.5%
移動に伴う引率教員の負担について、あてはまる項目を選んでください。	負担が大きく、許容できる範囲を超えている 0.0% 特に負担はなかった 43.8% 負担はあるが、許容できる範囲であった 56.3%	特に負担はなかった 0.0% 負担はあるが、許容できる範囲であった 62.5% 負担が大きく、許容できる範囲を超えている 37.5%
移動に伴う児童生徒の負担について、あてはまる項目を選んでください。	負担が大きく、許容できる範囲を超えている 0.0% 特に負担はなかった 50.0% 負担はあるが、許容できる範囲であった 50.0%	負担が大きく、許容できる範囲を超えている 0.0% 特に負担はなかった 12.5% 負担はあるが、許容できる範囲であった 87.5%

	第六日暮里小学校（回答数：16人）	第九中学校（回答数：8人）
移動時の見守り業務について、あてはまる項目を選んでください。	不十分であった 12.5% 十分であった 37.5% ちょうどよい 50.0%	不十分であった 25.0% 十分であった 12.5% ちょうどよい 62.5%
施設休館日での水泳指導の実施について、あてはまる項目を選んでください。	貸切で利用する必要はない（一般の方との共用でもよい） 0.0% その他 0.0% 貸切で利用できてよかった 100.0%	貸切で利用する必要はない（一般の方との共用でもよい） 12.5% その他 0.0% 貸切で利用できてよかった 87.5%
現在の実施曜日について、あてはまる項目を選んでください。	毎週同じ曜日でない方がよかった 0.0% 実施曜日を変えたかった 0.0% 問題なかった 100.0%	毎週同じ曜日でない方がよかった 25.0% 実施曜日を変えたかった 25.0% 問題なかった 50.0%
民間プール施設の利用によって学校のプールの維持管理が不要になることについて、あてはまる項目を選んでください。	ある程度有効であった 0.0% あまり有効でなかった 0.0% とても有効であった 100.0%	あまり有効でなかった 12.5% とても有効であった 62.5% ある程度有効であった 25.0%
今後の水泳指導について、あてはまる項目を選んでください。	デメリットを考えると、今後は学校プールでの実施が良い 0.0% どちらでも良い 0.0% デメリットもあるが、効果が期待できるため、今後も学校外の屋内温水プールでの実施が良い 0.0% 効果が期待できるため、今後も学校外の温水プールでの実施が良い 100.0%	どちらでも良い 12.5% デメリットを考えると、今後は学校プールでの実施が良い 12.5% デメリットもあるが、効果が期待できるため、今後も学校外の屋内温水プールでの実施が良い 50.0% 効果が期待できるため、今後も学校外の温水プールでの実施が良い 25.0%

	第六日暮里小学校（回答数：16人）	第九中学校（回答数：8人）
自由回答	・泳力別の少人数指導が可能なため、民間委託は有効だった ・水泳指導員の方もプロなため、教員も学ぶことが多かった ・児童もできる喜びを感じていた。 ・技能の向上が見えたことが一つの成果 ・厳しい練習において、練習量に負けずと取り組める子どもが増えている様子も伺えた ・水泳指導の曜日が固定されることで、特別支援教室の指導と被ることがないのが良かった ・プールの管理など、民間の方がしてくださるので、安全面でもメリットが大きい 等	・温水プールのため、意欲的に取り組む姿が見られた ・天気に左右されず、専門的な方に指導してもらえて、生徒たちも楽しそうだった ・客観的に生徒たちの姿を見ることができた ・1回の水泳の授業につき、体育の授業2時間扱いのため、時数の割に水泳の授業回数が少なくなってしまう ・体育科の教員以外の負担が大きい ・体育科ではない教員がその授業の指導する状況は改善した方がよい 等

	第六日暮里小学校（回答数：134人）	第九中学校（回答数：15人）
民間屋内温水プールでの水泳学習を受けたお子さんの様子で、あてはまる項目を選んでください。	特に変化はなかった 12.7% 分らない 2.2% 楽しそうだった 79.9% 不満そうだった 5.2%	分らない 6.7% 楽しそうだった 60.0% 特に変化はなかった 33.3% 不満そうだった 0.0%
民間温水プールで水泳学習を継続する場合、どのようなことに取り組んでほしいですか、あてはまる項目を選んでください。（複数回答）	■ 楽しみながら水に慣れること 46.3% ■ 民間コーチの指導による泳力の向上 72.4% ■ 天候に左右されない授業時間の確保 59.7% ■ その他 7.5% 【その他】 ・回数を増やしてほしい ・夏休みのプール 他	■ 楽しみながら水に慣れること 20.0% ■ 民間コーチの指導による泳力の向上 86.7% ■ 天候に左右されない授業時間の確保 46.7% ■ その他 0.0%
次年度以降も民間温水プールでの水泳学習を継続すべきかについて、あてはまる項目を選んでください。	どちらでもよい 16.4% 学校のプールに戻してほしい 0.7% 継続してほしい 80.6% その他 2.2%	どちらでもよい 13.3% 学校のプールに戻してほしい 0.0% 継続してほしい 86.7% その他 0.0%
自由意見	・ 民間コーチによる指導がありがたかった ・ プールや水が苦手であったが、本人も、「できるようになった」と喜んでいて ・ ひたすら泳ぐのではなく、遊びを取り入れたりしてもらえると良い ・ 学校のプールと違いプールが綺麗で嬉しい ・ 外のプールは紫外線がとても心配だったので今後も室内プールを継続してほしい ・ 回数や期間が増えると嬉しい ・ 夏休みもやってほしい ・ 2時間続けての水泳授業が、水泳があまり好きではないため身体的・精神的に辛かったようだ ・ 水泳指導中はプールサイドに教職員がいないと聞いたが、何かあった時の対応はどうするのか気になった 等	・ 来年度も継続を希望 ・ 泳ぎが得意ではないが、ちゃんとコーチがついてくれて、とてもよかった ・ 温水で泳ぎやすかった、と子どもが言っていた ・ レベルに合わせたコーチがつくのが良い ・ 大人の目も増えるのでとても良かった ・ 水泳の日を楽しみにしていた ・ 天候に左右されることがない上に、経済的に無駄のないのなら良いことだと思う ・ 移動に時間がかかることに、難色を示していた 等

	第六日暮里小学校（回答数：145人）	第九中学校（回答数：121人）
民間水泳指導員が指導する水泳の授業について、どう思いますか。	とても楽しかった 51.0% 楽しかった 42.1% あまり楽しなかった 4.8% 全然楽しなかった 2.1%	とても楽しかった 50.4% 楽しかった 43.0% あまり楽しなかった 4.1% 全然楽しなかった 2.5%
民間水泳指導員の教え方について、どう思いますか。	とてもよかった 49.0% よかった 46.2% あまりよくなかった 3.4% よくなかった 1.4%	とてもよかった 55.4% よかった 42.1% あまりよくなかった 0.8% よくなかった 1.7%
授業の難易度は、どうでしたか。	ちょうどよかった 29.0% 少し難しかった 37.9% とても簡単だった 15.2% 簡単だった 11.0% 難しかった 6.9%	ちょうどよかった 52.1% 少し難しかった 18.2% とても簡単だった 10.7% 簡単だった 12.4% 難しかった 6.6%
これからもスポーツクラブでの授業を続けたいですか。	とても続けたい 34.5% 続けたい 31.7% どちらでも良い 21.4% 学校のプールの授業が良い 12.4%	とても続けたい 29% 続けたい 43% どちらでも良い 21% 学校のプールの授業が良い 7%
自由回答	・楽しかった ・たくさん泳げるようになって嬉しかった ・コーチが分かりやすく教えてくれた ・間違えても、コーチが優しく教えてくれた ・もともとプールは苦手で大変だったけど、かなり泳げるようになって嬉しかった ・クロールの泳ぎ方のコツを教わってできるようになった ・平泳ぎが早くなった ・ちょうどよいプールの温度で泳ぐことができて良かった ・もう少し自由時間がほしい 等	・スポーツクラブでの水泳をこれからもやりたい ・ビート板を使った練習もあり良かった ・うまく泳げるポイントを分かりやすく教えてくれた ・25mをはじめて泳ぐことができた ・浮かぶ方法、コツを教えてもらった ・息継ぎをするときのコツを詳しく教えてもらった ・先生の話をよく近くまで寄らないと聞こえなかった ・プールに着くまでが暑すぎる 等

	第六日暮里小学校（回答数：16人）	第九中学校（回答数：5人）
民間委託による水泳授業の総合評価について、あてはまる項目を選んでください。	良い 6.3% 普通 0.0% 悪い 0.0% とても悪い 0.0% とても良い 93.8%	悪い 0.0% とても悪い 0.0% 普通 20.0% 良い 20.0% とても良い 60.0%
授業の進行管理について、あてはまる項目を選んでください。（時間配分、授業計画の共有など）	無回答 6.3% どちらとも言えない 6.3% 良い 31.3% 大変良い 56.3% 適切でない 0.0% 全く適切でない 0.0%	適切でない 0.0% 全く適切でない 0.0% どちらとも言えない 20.0% 大変良い 20.0% 良い 60.0%
水泳指導員の指導について、どう感じましたか。（複数回答）	安全管理が適切だった 75.0% 技術指導が分かりやすかった 81.3% 子どものやる気を引き出した 62.5% 子どもの個別サポートが適切だった 56.3% 子どもとのコミュニケーションが円滑だった 37.5% 連携・報告が十分だった 12.5%	安全管理が適切だった 40% 技術指導が分かりやすかった 60% 子どものやる気を引き出した 80% 子どもの個別サポートが適切だった 60% 子どもとのコミュニケーションが円滑だった 40%
施設までの移動の見守りについて、あてはまる項目を選んでください。	どちらとも言えない 12.5% 不十分だった 0.0% 十分だった 87.5%	不十分だった 0.0% どちらとも言えない 40.0% 十分だった 60.0%
今後の民間委託の継続について、どう思いますか。あてはまる項目を選んでください。	見直すべき 0.0% その他 0.0% 継続すべき 100.0%	見直すべき 20.0% 継続すべき 80.0%

	第六日暮里小学校（回答数：16人）	第九中学校（回答数：5人）
自由意見	・児童は欠席が少ない、保護者からも好評 ・保護者からは、児童が進級に向けて意欲的に水泳学習に取り組んでいる、との声をいただいた ・検定日を複数設けられると良い ・4時間目から帰ってくる児童はなるべく早めが良い（給食が遅くなってしまうため） ・今後も継続してほしい ・指導の様子を見学できたため、教員の学びになった ・教員の負担が軽減されてよい 等	・保護者からは好意的な反応が多い ・ありがたいと感じている保護者が多くいた ・体育科以外の教員が引率や見学対応をするのは不自然だと感じた ・炎天下での移動は生徒の体調面が心配 ・他の学校も外部委託を進めていけると良い 等

	第六日暮里小学校（回答数：129人）	第九中学校（回答数：34人）
スポーツクラブでの水泳指導を受けたお子さんの様子で、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	楽しそうだった 73.6% 特に変化はなかった 14.7% どちらとも言えない 6.2% 分からない 2.3% 不満そうだった 3.1%	楽しそうだった 67.7% 特に変化はなかった 23.5% どちらとも言えない 5.9% 分からない 2.9% 不満そうだった 0.0%
民間温水プールで水泳学習を継続する場合、どのようなことに取り組んでほしいですか。あてはまる項目を選んでください。（複数回答）	楽しみながら水に慣れること 51.2% 民間水泳指導員の指導による泳力の向上 83.7% 水泳授業時間の確保 62.8% 水泳指導中の安全確保 63.6% 上記以外 4.7% 【上記以外】 ・川や海で流された際の対処法 ・寒くない環境 ・安心できる水の深さ調整 他	楽しみながら水に慣れること 38.2% 民間水泳指導員の指導による泳力の向上 70.6% 水泳授業時間の確保 44.1% 水泳指導中の安全確保 41.2%
民間委託の継続についての意見を教えてください。	継続してほしい 93.0% どちらでも良い 4.7% 継続してほしくない 2.3%	継続してほしい 88.2% どちらでも良い 11.8% 継続してほしくない 0.0%
自由意見	・今後も継続してほしい ・スポーツクラブでの授業のおかげで泳力が向上した ・衛生的で天候に関係なく一定回数定期的に受講できて良かった ・指導回数を増やしてほしい ・移動時間の確保や暑い中の移動の大変さを考えると回数を減らす考慮も必要 ・夏休みのプールが少ないことが少し寂しい ・子どもが自由時間がほしいと言っていた ・安全に配慮していただければ良い 等	・是非継続してほしい ・民間委託はとても良い ・レーン毎に指導員がつくようで、安全面的にも良い ・毎回とても楽しそうだった ・天候に左右されずに授業が行われることが良かった ・入る前のシャワーが温水で喜んでいた ・学校や学童でのプール事故を報道でみるため、しっかりと目を話さないようにしてほしい 等

令和7年度 民間水泳指導員による水泳授業委託施行実施【指導員派遣型】 実施後アンケート結果（児童生徒）

	汐入東小学校（回答数：362人）	諏訪台中学校（回答数：258人）
民間水泳指導員が指導する水泳の授業の回数について、どう思いますか。1つ選んでください。	回数をもっと多くしてほしい 42.0% ちょうどよい 50.0% 回数をもっと少なくしてほしい 8.0%	ちょうどよい 71.3% 多い 14.7% 少ない 14.0%
民間水泳指導員が指導する水泳の授業について、どう思いますか。1つ選んでください。	とても楽しかった 63.8% 楽しかった 28.7% 楽しくなかった 1.9% あまり楽しなかった 5.5%	楽しかった 62.8% とても楽しかった 15.5% あまり楽しなかった 18.6% 楽しくなかった 3.1%
民間水泳指導員の教え方について、どう思いますか。1つ選んでください。	とてもよかった 64.9% よかった 30.7% よくなかった 0.8% あまりよくなかった 3.6%	よかった 66.7% とてもよかった 28.3% あまりよくなかった 3.9% よくなかった 1.1%
民間水泳指導員の指導で、あなたの泳ぐ力はどのように変わりましたか。1つ選んでください。	かなり上手になった 41.4% すこし上手になった 44.2% 変わらなかった 12.4% あまり上手にならなかった 1.9%	少し上達した 46.9% かなり上達した 14.3% 変わらない 22.9% あまり上達しなかった 15.9%
来年も民間水泳指導員の指導を受けたいですか。1つ選んでください。	とても受けたい 53.0% 受けたい 24.6% どちらでもよい 16.6% わからない 5.8%	どちらでもよい 54.7% 受けたい 26.4% とても受けたい 13.6% 分からない 5.3%

	汐入東小学校（回答数：362人）	諏訪台中学校（回答数：258人）
自由意見	・楽しかった ・クロールと平泳ぎがうまくなった ・コーチのおかげでたくさん泳げるようになった ・水泳授業の回数を増やしてほしい ・遊ぶ時間を増やしてほしい ・休憩の時間を多くしてほしい ・コーチと先生、両方の授業を受けたい 等	・みんなで競泳リレーをしたい ・ひたすら泳ぐだけでなく、遊びながら泳ぎが上達できる方法があると良い ・もう少し練習時間がほしい ・自由時間がほしい ・バタフライなど他の泳ぎ方もやってみたい 等

令和7年度 民間水泳指導員による水泳授業委託施行実施【指導員派遣型】 実施後アンケート結果（教職員）

	汐入東小学校（回答数：14名）	諏訪台中学校（回答数：2名）
児童生徒の泳力の向上の全体的な効果について、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	あまり効果はなかった 0.0% 効果はなかった 0.0% ある程度効果はあった 7.1% 効果は大きかった 92.9%	あまり効果はなかった 0.0% 効果はなかった 0.0% 効果は大きかった 0.0% ある程度効果はあった 100.0%
水泳学習に取り組む児童生徒の変容について、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	特に変化はなかった 0.0% 意欲的に取り組む子が減った 0.0% 意欲的に取り組む子が増えた 85.7% 意欲的に取り組む子がある程度増えた 14.3%	意欲的に取り組む子が減った 0.0% 意欲的に取り組む子が増えた 0.0% 特に変化はなかった 50.0% 意欲的に取り組む子がある程度増えた 50.0%
教員と水泳指導員との役割分担について最もあてはまる項目を選んでください。	少し満足 0.0% 不満 0.0% 満足 28.6% 大変満足 71.4%	少し満足 0.0% 不満 0.0% 大変満足 0.0% 満足 100.0%
水泳指導員の派遣は教員の負担軽減につながっていましたか。	あまり変わらなかった 0.0% 負担が増えた 0.0% ある程度負担軽減につながった 35.7% 負担軽減につながった 64.3%	あまり変わらなかった 0.0% 負担が増えた 0.0% ある程度負担軽減につながった 50.0% 負担軽減につながった 50.0%
児童生徒の評価は十分に行えましたか。	どちらとも言えない 28.6% 十分に行えなかった 0.0% 十分に行えた 71.4%	十分に行えなかった 0.0% 十分に行えた 0.0% どちらとも言えない 100.0%

	汐入東小学校（回答数：14名）	諏訪台中学校（回答数：2名）
安全管理に必要な水泳指導員の人数について、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	人員数にやや足りなさを感じたが、人員に変更の必要はない 0.0% 不十分な人員体制であり、人員を増やすべきである 0.0% 十分であったため、人員を減らしても問題ない 14.3% 適切な体制であり、人員に変更の必要はない 85.7%	人員数にやや足りなさを感じたが、人員に変更の必要はない 0.0% 不十分な人員体制であり、人員を増やすべきであった 0.0% 十分であったため、人員を減らしても問題ない 0.0% 適切な体制であり、人員に変更の必要はない 100.0%
水泳指導員の派遣回数について、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	少ない 0.0% 多い 0.0% ちょうどよい 100.0%	少ない 0.0% 多い 0.0% ちょうどよい 100.0%
今後の水泳指導について、最も当てはまる項目を1つ選んでください。	デメリットを考えると、今後は教員のみが良い 0.0% どちらでも良い 0.0% デメリットもあるが、効果が期待できるため、今後も水泳指導員の派遣が望ましい 7.1% 指導の効果が期待できるため、今後も水泳指導員の派遣が望ましい 92.9%	デメリットもあるが、効果が期待できるため、今後も水泳指導員の派遣が望ましい 100.0%
自由意見	・指導委託を是非継続してほしい ・児童の習熟度にあった指導を行えた ・子どもたちも安心して楽しく学習ができた ・民間プールへ行くと時間が取られるが、派遣型だと時間短縮になって良い ・民間水泳指導委託を広げてほしい ・夏休みプールと形が大きく変わるため、特に低学年は混乱が予想され、対策が必要だと感じた 等	・技能の上達は格段に良くなった ・大人の目がたくさんあるので、一度にさばける人数が多くなり、指導に集中できた ・生徒の評価については、統一した教え方ができない場合があります課題 等

令和7年度 民間水泳指導員による水泳授業委託施行実施【指導員派遣型】 実施後アンケート結果（保護者）

質問内容	汐入東小学校（回答数：236人）	諏訪台中学校（回答数：90人）
民間水泳指導員の指導を受けたお子さんの様子で、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	楽しそうだった 69.5% 特に変化はなかった 18.6% 分からない 6.8% 不満そうだった 1.7% どちらとも言えない...	楽しそうだった 36.7% 特に変化はなかった 42.2% 分からない 15.5% 不満そうだった 5.6%
今後の水泳学習において、どのようなことを希望しますか。あてはまる項目を全て選んでください。（複数回答）	指導員の指導による泳力の向上 29.9% 水泳指導中の安全確保 28.3% 楽しみながら水に慣れること 21.9% 水泳授業時間の確保 19.0% その他意見（水中での安全行動 等） 0.9%	指導員の指導による泳力の向上 55.6% 水泳指導中の安全確保 64.4% 楽しみながら水に慣れること 32.2% 水泳授業時間の確保 37.8% その他（個人個人に寄り添った指導） 1.1%
次年度以降の水泳授業について、最もあてはまる項目を1つ選んでください。	民間水泳指導員による指導を継続してほしい 71.2% どちらでもよい 27.1% 学校の教員のみで指導してほしい 1.7%	民間水泳指導員の継続 48.9% どちらでもよい 45.5% 学校の教員のみ 5.6%
自由意見	・レベルに合わせて指導してくれるので、わかりやすく上達したと喜んでいて ・泳ぐ時間が増えて楽しいと言っている ・もっと上手に泳げるようになりたいと意欲的になってきた ・教員だけではない方々のサポートもあり、安全面で安心できる ・民間水泳指導員を活用して、教員の負担軽減となるとよい ・技術指導よりもゲームやボール遊びなどで楽しくプールに入らせてあげて欲しい ・プールの授業数を増やしてほしい 等	・専門性のあるコーチに指導してもらえるのはありがたい ・ぜひ今後も継続してほしい ・習熟度別に分けた指導をしてほしい ・先生と指導員の教え方の違いに子どもが戸惑っていた ・テスト日程は予備日を設けてほしい ・水泳の授業を増やしてほしい 等